



金融庁では、当庁施策の紹介や説明を含め、その活動状況等について、各種刊行物等への執筆を行っており、ウェブサイト上で公表しています。本稿でもその一部について掲載いたします。

～最近掲載された寄稿等のご紹介～

◆ 事業性融資の発展の契機となる企業価値担保権への期待

総括審議官 柳瀬 護、監督局 事業性融資推進室長 水谷 登美男
(週刊金融財政事情11月11日号)

◆ 公開買付制度・大量保有報告制度の見直しに係る政令・内閣府令改正等の解説（後編）

企画市場局 企業開示課 課長補佐 新谷 亜紀子、課長補佐 金子 慧史、
前 企業開示課 専門官 上久保 知優、企業開示課 専門官 福田 輝人
(週刊経営財務 10月27日号)

◆ 公開買付制度・大量保有報告制度の見直しに係る政令・内閣府令改正等の解説（前編）

企画市場局 企業開示課 課長補佐 新谷 亜紀子、課長補佐 金子 慧史、
前 企業開示課 専門官 上久保 知優、企業開示課 専門官 福田 輝人
(週刊経営財務 10月20日号)

◆ 「健全な企業文化の醸成及びコンダクト・リスク管理態勢に関する対話結果レポート」について

総合政策局 リスク分析総括課 コンダクト企画室長 高島 さや香、課長補佐 宮下 文明
(月刊監査研究 10月号)

◆ コーポレートガバナンス改革に関する金融庁の近時の取組み〔1〕

企画市場局 企業開示課 課長補佐 新谷 亜紀子、課長補佐 廣島 直樹
(商事法務 No.2400 9月5日号)

◆ 金融商品取引業等に関する内閣府令の改正の解説

企画市場局 市場課 課長補佐 福岡 大河、総合政策局 総務課 係長 尾崎 祐二、
企画市場局 市場課 係長 鈴木 絢佳
(商事法務 No.2400 9月5日号)

👉 その他の寄稿等についても、[金融研究センターウェブサイト](#)を是非ご覧ください。

編集後記

アクセスFSAをご覧頂きありがとうございます。今月号は、岩田和親副大臣の就任インタビューを掲載しています。これまで国会議員として取り組まれてきたご経験から健康のために気を遣っていることまで、幅広く、わかりやすくお話を頂きました。

また、連載企画「金融庁職員が語る！金融行政の実務」は、今月号より、監督・モニタリング部門編が始まりました。柳瀬総括審議官を筆頭に、関係部局の職員に、「監督」や「検査」を巡る歴史的な経緯や国際比較なども語って頂いています。金融庁も25周年を迎える中、時代の流れに応じて、金融庁の行政の重点が変わってきた点なども感じられる内容となっていますので、是非お読みください。

12月になると1年間を振り返る機会が増えます。例年、日本漢字能力検定協会が発表する「今年の漢字」は「熊」でした。「今年の漢字」は1995年から発表されており、これまで、最も多く選ばれたことがあるのは、「金」だそうです（2000年、2012年、2016年、2021年、2024年）。マネー（お金）やゴールド（五輪の年なら金メダルなど）のイメージから選ばれているようですが、何かと私たちの生活に身近な漢字と言えます。来年も、アクセスFSAを通じて、少しでも「金」融庁を身近に感じて頂けるよう取り組んでまいります。今年もありがとうございました。

金融庁広報室長 久米 均

編集・発行：金融庁広報室